The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	大阪大学 日本学報　第37号　執筆者紹介/編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	日本学報. 2018, 37
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/71628
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

■執筆者紹介（掲載順）

木村　哲也（きむら・てつや）　本文のプロフィール参照

鎌倉祥太郎（かまくら・しょうたろう）　大谷大学等非常勤講師

猪岡　叶英（いのおか・かなえ）　大阪大学大学院文学研究科博士後期課程（日本学専門分野）在学中。西宮市立郷土資料館学芸員。

アレクサンダー・ギンナン　大阪大学大学院文学研究科博士後期課程（日本学専門分野）在学中。鳥取大学地域学部地域文化学科助教。

徐　　潤雅（そ・ゆな）　大阪大学大学院文学研究科博士後期課程（日本学専門分野）在学中

中西　美穂（なかにし・みほ）　大阪大学大学院文学研究科博士後期課程（日本学専門分野）在学中

栗山　新也（くりやま・しんや）　国際日本文化研究センター外来研究員

西田　桐子（にしだ・きりこ）　工学院大学非常勤講師

富永　真樹（とみなが・まき）慶應義塾大学大学院文学研究科後期博士課程在学中

番匠　建一（ばんしょう・けんいち）　同志社大学〈奄美－琉球－沖縄〉研究センター研究員

ファクンド・ガラシーノ　大阪大学大学院文学研究科博士後期課程（日本学専門分野）在学中

吉川　葉月（よしかわ・はづき）　大阪大学文学部（日本学専修）卒業

八尾　典明（やお・のりあき）　大阪大学文学部（日本学専修）卒業

編集後記

10数年前、大学院生の頃、図書館で『日本学報』の第21号を手に取ったときのことを想い出す。当時の誌面は、縦書きと横書きの混合であった。第21号の特集は、「戦死者のゆくえ」。雑誌の入手方法も分からず、特集に収められた論文をひたすらコピーした記憶がある。とりわけ、本誌掲載を経て『戦死者のゆくえ』(青弓社、2003年) に収録された川村邦光先生の「戦死者とは誰か」は、茫漠としていた自分の研究に輪郭を与える光彩を放っていた。その当時は、まさか自分がこの雑誌の編集を手掛けることになるとは夢にも思わなかった。

『日本学報』は刊行を重ね、今号で37を数える。紀要は研究室の顔となるものである。一冊一冊から、それぞれの時代の学的潮流が、研究室を構成する学生や教員の顔ぶれが浮かび上がってくる。この雑誌の長い歩みの途上に立って、第37号も小さな一里塚を置くことができた。読者のみなさまからの忌憚のないご意見・ご高評をたまわることができれば幸甚である。

(北村　毅)

日本学報　第37号

2018年3月31日　発行

編　集　　大阪大学大学院文学研究科日本学研究室『日本学報』編集委員会
発　行　　大阪大学大学院文学研究科日本学研究室
〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町1-5

編集協力…… 川平いつ子、岩井 弘、新宿書房
印刷 …… モリモト印刷